

意欲的に取り組み心豊かで心身ともにたくましい豊の子ども

豊小だより

H26年

4月号

4月7日発行

春休みの校庭では、子どもたちが本当に楽しそうに遊んでいます。「今度は何先生だろう。誰と一緒にだろう。」などという会話が聞こえてきそうです。新年度が始まろうとしています。今日は始業式、そして10日の入学式を迎えます。いよいよ始まりです。

お子様のご進級，ご入学おめでとうございます。

桜花爛漫のときを迎え、平成26年度が始まりました。1年の始まりというのは期待と不安で緊張を感じるものです。進級，入学する子どもたちも保護者の方も教職員も同じです。「新しい気持ちで頑張ろう。」と思います。この気持ちを大切に一人一人のスムーズなスタートを願っています。学校はこれから始まる1年間のために考え得るいろいろな準備をして臨みます。「教育」はよい人間関係の上に成り立つものですから、まずはよい出会いをすることが大切です。そして、保護者の皆様，地域の皆様方のご支援ご協力をいただきながら信頼される「豊小学校の教育」を進めてまいります。どうぞ今年度もよろしくお願ひ致します。

4月の予定



日	曜	行事予定等	日	曜	行事予定等
1	火	学年始め休業日	16	水	1年生給食開始 聴力検査3・4年
2	水		17	木	参観・懇談 聴力検査5・6年
3	木		18	金	地区別児童会
4	金		19	土	
5	土		20	日	
6	日		21	月	避難訓練 クラブ活動(6校時)
7	月	新任式 始業式 下校 12:10 バス 12:30	22	火	全国学力学習状況調査 視聴覚検査1・2年 家庭訪問 下校 13:35 バス 13:55
8	火	退任式 下校 12:10 バス 12:30	23	水	家庭訪問 子ども読書の日視聴覚検査1・2年 集金 下校 13:35 バス 13:55 へたんク
9	水	給食開始 下校 13:35 バス 13:55 入学式準備	24	木	家庭訪問 視力検査5・6年 下校 13:35 バス 13:55
10	木	入学式 下校 12:10 バス 12:30 ファミリーデー	25	金	家庭訪問(予備) PTA 評議員会 1年生を迎える会
11	金	登校指導 身体計測6・4・2年なかよし学級	26	土	
12	土		27	日	
13	日		28	月	地域探索の日
14	月	児童朝会 登校指導 委員会 身体計測5・3・1年	29	火	昭和の日
15	火	聴力検査 1・2年なかよし学級	30	水	内科検診なかよし学級・2・4・5年

平成26年度職員紹介

校長	小合 武志	教頭	片山 敬子 ☆
なかよしA組	難波 泰子	なかよしB組	石原 和美
1年A組	高原 恭子	1年B組	河本 恵美
2年A組	岡田 洋子	2年B組	三宅 純平 ☆
3年A組	山崎 加代子	3年B組	難波 いづみ
4年A組	小林 和弘	習熟度別指導	市場 佳代子
5年A組	小林 栄子	支援員	杉本 洋子
6年A組	田村 敬子	6年B組	森 俊博
教務主任	内田 裕一	養護教諭	小林 淳子
事務主任	葛間 温子	学校司書	松本 麻里
栄養士	横田 徳子	用務技師	岡崎 保 ☆
給食調理技士	笠本 ゆう子	臨時給食調理員	橋本 寿美

※石田加寿子教諭は、育児休業を取らせていただいています。 ☆は転入職員

平成25年度末の小学校・幼稚園の人事異動についてお知らせいたします。

<お世話になりました>

教頭	西山 暁子	岡山市立中央小学校へ	副校長として
教諭	小川 恭弘	岡山市立旭操小学校へ	
講師	吉田 裕美	岡山市立福島小学校へ	新採用教諭として
用務	石原 郁子		ご退職
幼稚園主	石田 須恵子		ご退職

<よろしくお願ひいたします>

教頭	片山 敬子	岡山市立高島小学校から
講師	三宅 純平	新規採用
用務	岡崎 保	新規採用
幼稚園主任	岡村 路子	岡山市立太伯幼稚園から



<創立130周年記念メモ> ①

岡山市立豊小学校は、130年前の明治17年7月24日に薫陶小学校という名称で創立されました。その後昭和16年に邑久郡豊国民学校と改称し、戦後、邑久郡豊小学校となったそうです。やがて、昭和28年に豊村と西大寺市が合併し、西大寺市立豊小学校となりました。この年に豊幼稚園が新設されました。昭和44年に西大寺市と岡山市が合併して、岡山市立豊小学校となりました。岡山市立としてのスタートはここからです。翌年、プールが作られたようです。(豊小学校沿革史より)

特別支援教育について

特別支援教育は、特別支援学級(本校では、なかよし学級)だけでなく、すべての学級のすべての子どもにとって大切な教育です。すべての人誰もが教育に機会均等を願い、自己の能力一杯に教育されることを望みます。それを保障するのが特別支援教育です。学校教育法が改正され5年以上がたち、少しずつ特別支援教育についての理解も深まってきたように思います。子どもたちの「困り感」を「特性」と捉え、それぞれに対していろいろな形で支援できるようにと考えています。本校では、「特別支援教育」を学校教育の中核の一つと捉え、支援が必要な子どもたちに必要な支援・教育を行うように取り組んでいます。まだまだ課題は多いのですが一歩ずつ着実に進めていきたいと考えています。何か特別支援に関するお尋ねがありましたら、特別支援教育コーディネーターの難波泰子教諭か片山教頭にご相談ください。

